日本社会医療法人協議会 ニュース

略称 日社協ニュース

第29号

令和4年10月3日 発行

発行所：一般社団法人日本社会医療法人協議会 発行人：西澤寛俊
 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-6-12 TEL/FAX：03-6261-0138 URL：https://nishakyo.or.jp/ E-mail：info@nishakyo.or.jp
 制作：株式会社日本医療企画 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-5 TEL：03-3553-2864

令和4年度定時総会開催

任期満了に伴い新役員を選出 6事業への対応などに意欲を示す

一般社団法人日本社会医療法人協議会は6月24日、東京都内で令和4年度定時総会を開催した。令和4年度事業計画および収支予算などについての報告、令和3年度事業報告および決算に関する議案審議が行われた。なお、同日は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に鑑み、ウェブでも同時に配信された。

社会医療法人制度の 実績基準適正化に取り組む

最初に西澤寛俊会長が挨拶に立ち、コロナ禍の2年あまりを振り返って、「会員病院はその機能に応じて努力しながら積極的に対応してきた」と強調。一方、協議会では制限があるなかで研修会や積極的な情報提供と可能な限り活動してきたものの十分ではなかったとし、「特に制度改革への対応など、今年度はより積極的に取り組む必要がある。地域医療構想や働き方改革などについて、感染の状況を見ながら積極的に活動していきたい」とした。また、来年で協議会設立10周年を迎えることに触れたうえで、「第8次医療計画から『新興感染症拡大時の医療』が記載事項に追加され、5疾病・6事業になる。新興感染症拡大時の対応について協議会として今後しっかりと考えていかなければならない。また、これまでも課題と

して指摘されてきた社会医療法人制度の実績基準の適正化についても、今後を見据えてしっかりと取り組んでいきたい」と述べた。

当日は、出席者および委任状による出席者が正会員の過半数を超えたことにより、定時総会が成立。定款の定めにより西澤会長が議長を務め、定時総会が進行された。

総会では、加納繁照副会長が▽令和4年度事業計画および収支予算について、▽令和4年度会議予定について——の2項目の報告を行った。事業計画については、①社会医療法人の普及に関する事業、②社会医療法人の育成に関する事業、③医療関係団体との協力、連携——の3つを柱として事業を実施する方針を打ち出している。①では、「社会医療法人制度の再検討」として、▽社会医療法人制度の実績基準の適正化、▽医療計画・地域医療構想における社会医療法人のあり方、▽認定要件6事業への対応——を盛り込んだ。

令和4年度の収支予算に関しては、事業活動収入が2303万2000円(前年度比101%)、事業活動支出が3658万7000円(同104%)で、当年度収支差額は△1355万5000円(同109%)、前年度繰越金収入6144万1000円を踏まえ、次年度繰越金は4788万6000円となった。このほか、令和3年度会議予定についての報告も行われた。

続いて、▽令和3年度事業報告および決算に関する件、▽理事および監事の選出に関する件——が議案として提出された。いずれも出席者の拍手多数で承認された。

任期満了に伴う新たな理事の選出については、期日までに14名の立候補者から届け出があり、選挙管理委員会での審査の結果、全員が新理事に就任する運びとなった。これに続いて、会長・副会長を選出する臨時理事会を開催。議論の結果、西澤会長、神野正博副会長、伊藤伸一副会長、加納繁照副会長の続投が決定した。

臨時理事会後、西澤会長は「コロナが収束すれば、今までストップしていた医療制度改革が一気に動き出す。当協議会だけではなく、ほかの医療関連団体と協力しながら医療界全体で対応していきたい」と挨拶。また、認定要件6事業への対応や社会医療法人制度の実績基準の適正化についても積極的な活動を展開するとした。